

業費として六十七万一千円で
 県が二十五万円、今治・松山
 流域森林林業活性化センター
 も同額の補助を予定し、残り
 が一般財源となっている。
 仕様は、幅六三センチ・奥行き
 六〇センチ・高さ七八センチ・重量一
 〇三キロ、暖房出力約一万
 キロワットとなっている。



木質ペレットストーブ

答

同規模の長さ一五メートル・
 幅五メートル・高さ一・五メ
 ートルの浮棧橋を新規購入し
 た場合、一基三千万円、三基
 で一億円近くとの試算になっ
 ている。しかし海上保安部
 では十年毎に定期整備を実施
 しており、この定期整備によ
 り十〜十五年使用可能期間が
 延びると聞いている。今回購
 入する浮棧橋は、ちょうど十
 年目に当たり今回整備する事
 により十〜十五年は使用可能
 と考えている。業者によると、
 定期的に整備を実施し、戦前
 の浮棧橋も現在使用中の例も
 あるとの事であった。

問

伊予港浮棧橋整備について

中古の棧橋を購入して整備
 するということであるが、新
 品を購入する場合との比較検
 討はしたのか。また、それぞ
 れの寿命は。



伊予漁協裏の使用不能浮棧橋

地方債元金繰上償還金に
 ついて

問

一・償還する際、利子も全部
 含めているのか。
 二・償還できる条件を聞く。
 三・二十年度並びに二十一年
 度の繰上償還予定表の中身は、
 それぞれの条件におけるすべ
 てと認識してよいのか。

答

一・今回繰上償還する元金が
 二千八百九十八万六千六百五
 十二円で、一般会計四件分で
 あり、これを償還することに
 よって保証金免除、つまり残
 利子合計額二百三十四万九千
 百四十六円が免除され、これ
 が将来の一括償還により、節
 減を図るものである。
 二・償還年度は、十九年度か
 ら二十一年度の三カ年に限定
 されており、十九年度の利率
 は7%以上、二十年度は6%
 以下7%まで、二十一年度は5
 %以下6%の利率分の各々、高
 利息分を償還対象としてい
 る。
 三・該当するものとしては、
 その条件下では、概ねと考え

ているが、一般会計において
 は実質公債比率、市町村合併
 にあつては、15%以上でない
 といけない条件があり、厳密
 にすべて把握しているとはい
 えない。

問

平成十九年度伊予市公共
 下水道特別会計補正予算
 (第二号)について

一・委託料二千六百七十七万
 千円を詳しく説明してもらい
 たい。

二・二〇〇〇のポンプを新
 規にやるという説明だが、大
 谷ポンプ場の能力が落ちたの
 か、それとも集水面積が増え
 たのか説明してもらいたい。

答

一・公共下水道の終末処理場
 と大谷ポンプ場の耐震診断の
 設計業務である。大谷ポンプ
 場の四号機の一・二〇〇のポ
 ンプが、現在一台据わってい
 ない。この設置を二十年度・
 二十一年度で計画したい。こ
 の設置に伴う業務委託を発注
 したい。
 二・昭和四十六年に都市下水



大谷ポンプ場

道事業として、大谷ポンプ場
 に毎秒一〇リットルの水が流れてく
 るという計画で、ポンプ場を
 設置した。現在は、一・二・
 三号機全機で、一応毎秒七リ
 ットルの水を汲み上げる能力しか
 ない。今回、四号機を増設する
 ことで、相田川から梢川の間
 の地域の雨水を、毎秒一〇リ
 ット排水することが可能となる。
 浄化センターほか再構築基
 本設計業務が二千九百八十万
 円、大谷ポンプ場の実施設計
 業務に二百万円を予定してい
 る。

既設の予算の中で、入札減
 少金が、一千万円余り生じて
 いるので、差引き二千六百六
 十七万五千円を補正額とした。